

長沢川

瀬田北小学校 学校だより
NO.14 令和8年3月24日
校長 藤井 一彦(文責)
児童数 1132名

本日、瀬田北小学校令和7年度最後の学校行事3学期終業式および修了式を行いました。3月18日に卒業式を終え、6年生のいない1～5年生だけの式です。ぼかんと穴の開いたような少し寂しい空間を感じる体育館でしたが、終業式では、子ども達にこんなお話をしました。

令和7年度は、登校日が198日間あったので、楽しいことがあればいやことがあるのは当たり前です。みなさんは、感じていないと思いますが、この198日の間で、勉強して頭が良くなっただけでなく、いやなことや悲しいことを乗り越え、心も大きく成長しています。・・・4月から新しい仲間や先生と新しい教室で新しい勉強が始まります。その前に、今の自分を見つめて、4月から何を頑張るのか考えておくといいですね。・・・最後に皆さんにお願いがあります。それは、皆さん一人一人が考える目標とは別に、4月から毎日一回以上は、学校で誰かにぼかぼかビームを出すということを目指してほしいということです。私は、学校全体が「ありがとう」「頑張ったね」「一緒にやろう」「大丈夫だよ」など心がぼかぼかする言葉であふれ、学校にただで楽しい気持ちになれる、優しい気持ちになれる雰囲気になりたいのです。そのためには、みんなの優しい心のパワーが必要です。ぜひ、一緒に頑張りましょう。

【心温まる六年生を送る会】

3月3日(火)中休みから3校時にかけて、体育館で六年生を送る会を行いました。一年生から五年生までが体育館に集合し、六年生を迎える準備を整えた雰囲気の中、少し照れくさそうに六年生が入場してきました。来年、瀬田北小学校を引っ張ってくれる五年生が中心になって会を進行してくれました。一年生からは、「大きなかぶ」のお話のパロディを演じ、掃除や登校等でお世話になったお礼と「一年生になったら」の歌を披露しました。二年生は、分団登校のお礼や組体へのあこがれなど声をそろえて大きな声で声援風に六年生に伝えていました。三年生は、給食の好きなおかずやデザート、好きな教科などについて六年生クイズを行い、在校生を巻き込んで楽しい雰囲気にして盛り上げてくれました。四年生は、本校のお世話になった6人の先生当てクイズを行いました。正解することは難しかったようですが、六年生に笑顔の花が咲きました。そして、五年生です。時空をさかのぼり、一年生から思い出を再現してくれました。コロナで大変だったこと、四年生でのやまの子学習や五年生での北リピックのソーラン節など笑いを誘う出し物の後に、卒業式の呼びかけ風に、六年生から自分たちがバトンをしっかり受け取り、今度は自分達がこの瀬田北小学校を引っ張っていくことを宣言してくれました。その姿は大変たくましく、心強かったです。そして、最後に六年生からお返しとして、卒業式で歌う「旅立ちの日に」の合唱を披露してくれました。体育館に響き渡る歌声は、おそらく在校生の胸に突き刺さったことでしょう。



全ての出し物が終了し、六年生が退場するとき、体育館の照明を落とし、五年生が色とりどりの電飾を使って道を作り、BGMに「僕らまた」という曲が流れました。その歌詞の中に「僕らはまたそれぞれの道をさ 歩み始めたのさ」「出会いという宝物」「思い出という贈り物」「涙はぐっと堪え それじゃま

たね」というフレーズがあり、感動的なフィナーレになったように感じました。

【令和7年度卒業証書授与式】

六年生の子ども達が、最後にして最大の学校行事である卒業証書授与式を見事にやり遂げ、卒業していきました。校内音楽会や北リンピックの発表でもそうでしたが、中途半端な頑張りではなく、最後の最後まで自分達の持っている力を出し切る姿が卒業証書授与式でも見られました。式



辞では、思い切りいろいろなことに挑戦し、失敗して挫折を経験して欲しい、そしてしなやか

で強い心を育てて欲しいとお話しました。これからの時代は、不透明で、目指すべき正しい道がわかりにくく、迷い、悩むことも多いと思います。そんな時に自分を支えるのは、失敗や挫折を乗り越えてきたしなやかな心と努力に裏付けられた自信です。人との関わりを大切に、感謝の気持ちを忘れず、力強く歩むことを願っています。卒業おめでとう。



【ぼかぼかハートフルデイ】

令和7年度最後の「ぼかぼかハートフルデイ」は、先生方や五年生からの六年生へのメッセージ動画でした。「一年生にいろいろ教えてくれてありがとう」「一生懸命な姿がすてきでした」「下級生が怪我をしたとき、保健室に連れてきてくれてありがとう」「すてきなあいさつは下級生の見本でした」「学校代表としていろいろな仕事をしてくれてありがとう」など、心温まるメッセージの数々を聴きました。心がぼかぼかしました。



この日は、3月11日(水)東日本大震災15年目の節目の日でした。給食の時間には寺畑教頭先生からお話をいただきました。多数の死者や行方不明者、負傷者や避難者を出した阪神淡路大震災やこの東日本大震災から人間が学ぶべきことは何なののでしょうか。自然は人間を超えてくるということ、自分の命は自分で守る防災訓練の大切さ、地域コミュニティの大切さなど多岐にわたります。自然の驚異になすすべがない私たちが一番大切にしなければならないことは、人と人との助け合いではないのでしょうか。人と人が助け合うためには、日頃から良好な人間関係作りのためのコミュニケーションが欠かせません。ぼかぼかハートフルデイをきっかけにして、心をぼかぼかさせる「ぼかぼかビーム」について一年間子ども達に伝えてきました。それは、子ども達の見えない温かい優しい心を「ぼかぼかビーム」で可視化し、学校・学級で過ごす子ども達の心理的環境を良好にすることで、「居心地の良い学習環境」を整えたいと思ったからです。これからも人権教育、情操教育を大切にした学校運営をしていきます。

最後になりましたが、4月から14号にわたり、瀬田北小学校の様子をお伝えしてきました。学校での子ども達の様子が伝わるように内容を編集して参りましたが、物足りない部分が多々あったかと思えます。「長沢川」でお伝えできることは、ほんの一部です。長沢川をご家庭でのお話の話題の種にいただき、お子様の口から直接学校のお話をしていただきたいと願っています。

一年間、瀬田北小学校の教育活動にご支援・ご協力を賜り、本当にありがとうございます。職員一同精一杯務めさせていただきましたが、至らないところにつきましてはお詫び申し上げます。新年度、職員の顔ぶれは一部変わりますが、一致団結し、笑顔輝く瀬田北小学校のさらなる向上に努めて参ります。来年度も変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。